

## 2023\_0719「巣立ち後のシジュウカラ（動画）」日々の理科 3269号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

鳥類の「巣立ち」とは、「巣から出る」という行動をさします。しかしほとんどの鳥類では、「巣立ち=ひとり立ち」という意味ではありません。フクロウもシジュウカラも、巣立ち後しばらくの間は、親鳥から給餌を受けて育ちます。

巣立ち直後の数日間は、まだ風切り羽の尾羽も小さく飛翔力も弱いので、巣箱の近くの樹木の枝で過ごし、親鳥の世話を受けます。今回巣立った5羽の行先は、完全には把握できませんでしたが、2羽はモミの葉の上、1羽はカラマツのかなり高い枝、そしてもう1羽は、背の低いクリの枝でした。

このクリの木は、数年前に伐採したクリの大木の切株から発生した不定芽が成長したもので、巣立ちした雛にとっては誠に都合の良い木です。過去の巣立ちの時にもたびたび「利用」されています。

今回の動画は、そのクリの枝にとまった「巣立ち後の雛」です。かなり遠くから撮影していたのですが、親鳥が警戒声を出していたので、雛は剥製のようじじっとしています。雛は巣立ちの翌朝まで、この枝から動きませんでした。

(2023年7月中旬／北軽井沢)

